

6. 広報活動

2013年度に引き続き、多数の見学や取材に対応した。また広告代理店との連携によるPR活動や施設公開でのSACLAの紹介を通して、SACLAの広報・普及活動につとめた。

1. 広告代理店との連携

産業界を始め国民に広くSACLAを周知する広報事業を展開するため、PR会社との連携業務を実施した。成果物の例として、PRの企画・実施、動画作成、雑誌タイアップ、シンポジウム企画等が挙げられる。これらの取り組みにより、54媒体・約5,600万円の広告換算効果を生んだ。

2. イベント

施設側として広報イベントを主催するとともに、学生や一般向けの展示会やイベントに積極的に参加し、SACLAを紹介した。

2-1 施設公開

2014年4月27日に第22回SPring-8施設公開が開催され、実験研究棟の実験ホール、光源棟のアンジュレ-

タギャラリーを中心に、SACLAの施設と装置を展示やパネル等で紹介した。施設公開全体で8,049名の来場があった。

2-2 SACLAシンポジウム2015

2015年3月18日、東京都品川インターシティホールにおいてSACLAシンポジウム2015を開催し、SACLAの施設紹介やゲストトーク(荒俣宏氏)、講演会を行った。

3. 報道発表

2014年度はSACLAに関する15件の報道発表を行った(表1)。また、テレビ番組や新聞、WEBコンテンツのための取材が11件あった。

4. 見学対応

2013年度から引き続き、政府関係、産業界、海外研究機関等における要人、また学校教育の一環としての生徒・学生の見学をはじめ、幅広い層の見学希望があり、多くの見学者を受け入れた。

放射光科学研究推進室

表1 2014年度の報道発表一覧

| 発表日 | タイトル | 発表機関 |
|----------------|---|---|
| 2014年 4月23日 | 円偏光したX線自由電子レーザーの生成に成功 ーピコ秒オーダーの超高速磁気現象解明に向けてー | 理化学研究所 高輝度光科学研究センター |
| 2014年 4月28日 | X線レーザーの集光強度を100倍以上向上 ー4枚の超高精度ミラーを駆使し50ナノメートル集光に成功ー | 東京大学、大阪大学 高輝度光科学研究センター、理化学研究所 |
| 2014年 4月30日 | 世界最高強度の光で探る真空～未知の「場」を探して～ | 東京大学、理化学研究所 |
| 2014年 5月2日 | SACLAとSPring-8の光で生体分子複合体のナノ構造を解明 ーRNA干渉マイクロスポンジの3次元ナノ構造を明らかにー | 理化学研究所 Liverpool大学 |
| 2014年 5月12日 | SACLAが、放射線損傷のない正確な結晶構造の決定に、タンパク質で初めて成功 ー世界結晶年2014年、レーザーX線が拓く次の世紀へのマイルストーンー | 理化学研究所、兵庫県立大学 高輝度光科学研究センター、大阪大学 岡山大学 |
| 2014年 5月15日 | ナノ結晶中の超高速構造変化をX線レーザーで捉えることに成功 | 北海道大学、Southampton大学 理化学研究所、関西学院大学 京都大学、高輝度光科学研究センター |
| 2014年 10月2日 | X線可飽和吸収を世界で初めて観測 ーSACLAの世界最強X線レーザーが切り拓く新たな世界ー | 理化学研究所、電気通信大学 高輝度光科学研究センター、大阪大学 東京大学、京都大学 |

| 発表日 | タイトル | 発表機関 |
|-----------------|--|---|
| 2014年 11月4日 | X線自由電子レーザーを用いた非結晶粒子構造研究のための新しい解析理論の構築と実用化 －SACLAの効率的利用を目指して－ | 慶應義塾大学、理化学研究所 |
| 2014年 11月11日 | 連続フェムト秒結晶構造解析のための結晶供給手法を開発 －少量の試料で多様なタンパク質の結晶構造決定がSACLAで可能に－ | 理化学研究所、大阪大学、京都大学 高輝度光科学研究センター |
| 2014年 11月27日 | 光化学系II複合体の正確な三次元原子構造を解明 －人工光合成開発への糸口に－ | 岡山大学、理化学研究所 |
| 2014年 12月24日 | SACLAを用いた固体の光電子スペクトルの時間分解計測に成功 －界面の電荷移動現象や動作中の半導体の電子状態の観察が可能に－ | 理化学研究所、Keele大学 自然科学研究機構分子科学研究所 高輝度光科学研究センター |
| 2015年 1月27日 | 単一サイクルX線パルスを発生するXFEL手法を考案 －“光のすり抜け”を光波の干渉で制御－ | 理化学研究所 |
| 2015年 1月29日 | 生体試料の高分解能・高信頼度イメージング法を開発 －従来の測定条件で分解能が2倍以上向上－ | 理化学研究所 |
| 2015年 2月18日 | XFELを利用した計測の時間分解能を大幅に向上 －SACLAの性能を最大限に利用したポンプ・プローブ計測を実現－ | 理化学研究所 |
| 2015年 2月18日 | 原子同士が結合して新しい分子が生まれる瞬間を X線によってストロボ撮影 －人工光合成技術を推進する新しい分子動画撮影法を開発－ | 高エネルギー加速器研究機構 基礎科学研究所、韓国科学技術院 理化学研究所、高輝度光科学研究センター |